

広報

いさ



◎特集 『輝く若者たち』

2018.9

ISA City Public Relations No.235



恒吉美空さん (18 歳)
伊佐農林高校
生活情報科 3 年生

昔から本を読むことが好きです。おすすめは「図書館戦争」。映画や漫画より、原作が一番です。

1 年生のころから自励会(生徒会)に所属していて、今では副会長をしています。会長の補佐や学校行事の準備・運営が主な仕事ですが、先日行われた「いさドラゴンカップ」のお手伝いなどもしました。

一番大変だった思い出は文化祭です。放課後に有志発表のオーディション審査をしたり、当日の放送を担当したりと忙しかったですが、その甲斐あって達成感がありました。

私は将来進学して、幼い頃から好きだった本に携わる司書の先生になりたいと思っています。これまで自励会での活動や学校での検定合格に向けて頑張ってきました。これからも、私の好きな言葉である「努力」を忘れずに、いろんなことを成し遂げて行きたいです。

これまでもこれからも、**努力を忘れずに。**



仮屋アリサさん (17 歳)
大口明光学園高校 2 年生
吉野中学校出身

最近では K ポップにはまっています。水泳が好きです。将来は母のような人になりたいです。

英語はアメリカ人の母との日常的な会話で身に付きました。さらに英検 1 級を取得するために、英語講師である母に教わりながら必死に勉強しました。

英語が話せて良かったことは、中学校の修学旅行のときです。外国人観光客がバス停で迷っているのを見かけたのですが、私も道に詳しくなかったもので、バスの運転手さんに尋ねながら通訳のような役割を果たすことができて嬉しかったです。

将来は英語力を活かして、アメリカの大学で医療について学びたいと思っています。TOEIC や TOEFL にも挑戦したり、2020 年の東京オリンピックではぜひ通訳ボランティアに参加したいです。「レインボーキッズいさ」にも所属しているので今後の活動も頑張っていきたいです。

培ってきた英語力を活かして。



舞蘭烈翔さん (17 歳)
大口高校 3 年生

スポーツが大好きです。最近では洋楽を聴くのはまっています。

伊佐市のことをもっと知りたいと思い、2 年生の時に「曾木の滝公園もみじ祭りプロデュース」に参加しました。僕は全体の総括をするエディター班として、アート班の担当をしていたのですが、祭り前夜に手作りの灯籠を灯して、とても綺麗だったことを覚えています。来てくださった皆さんにも「綺麗だね〜!」と喜んでもらえたことが嬉しかったです。

今は進学に向けて勉強しながら、サッカー部キャプテンとして、9 月の大会のために練習しています。大変ですが、将来は大好きなスポーツに携わる仕事に就きたいと思っていますので、そのために今できることを精一杯頑張りたいです。

地域活動と文武両道、**何事も一生懸命に。**



先輩の卒業式。生徒代表で感謝を込めて送りました!

- ・自励会 副会長
- ・弓道部 主将
- ・イベント役員ボランティア



海の環境問題について英語で弁論。ベスト 8 です!

- ・中学校 3 年生で英検 1 級取得
- ・鹿児島県中高生英語プレゼンテーションコンテスト第 2 位
- ・ホノルル市長杯全国青年弁論大会ベスト 8 など



祭りのプロデュースは下見から念入りに!

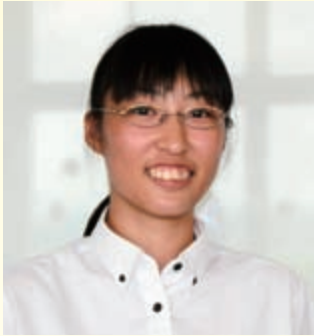
- ・サッカー部キャプテン
- ・曾木の滝公園もみじ祭りプロデュースに参加



活動記録

『輝く若者たち』

これからの未来を担う若者たち。さまざまな分野で活躍し、



鎌田 桃花さん (17歳)
伊佐農林高校
農林技術科3年生

大切に、思いを込めて育てたい。

ペットの猫と遊ぶのが好きです。秋のカントリーエレベーター辺りの堤防から見る田んぼの景色に癒されます。

私は農林技術科で牛を育てています。小さい頃から動物が大好きで、祖父がお米を作っていたこともあり、中学校に入る前から伊佐農林高校に行こうと決めていました。牛のお世話は大変ですがみんなと協力して楽しく頑張っています。

今年は日本学校農業クラブの平板測量(土地の正しい面積を計る競技)の全国大会が伊佐市で行われますが、先生方からの推薦もあり、大会の生徒実施委員長を務めることになりました。測量は初めてでしたが、先生方のご指導のもと、日々練習に励んでいます。

将来、農業大学に進学して、畜産農家になりたいです。できるなら祖父の稲作も継いで、両立してみたいと思っています。そしていつか、伊佐のブランド牛を育てたいです。



米盛 琴華さん (17歳)
大口明光学園高校3年生

ボランティア活動でたくさんの人を笑顔に。

元陸上競技部だからかきれいな直線を見ると走りたくなります。諏訪神社展望台からの伊佐の眺めが好きです。

3年生になって部活動を引退したので、ずっと興味があった「レインボーキッズいさ」に入ったり、いろんなボランティア活動に参加し始めました。もともとボランティアが好きで、休日でも暇な時間がないくらいいろんな活動をしていきたいです。

昨年には「かごしま青年塾」の15人に選ばれて香港へ行き、香港大学で話を聞いたり、現地の青少年と意見交流をすることができました。普段いろんな活動をしているからこそ声をかけてもらえて、このような経験に繋がっているのだと思うと、とてもやりがいを感じます。

将来の夢は社会福祉士か特別支援学校で働くことです。ぜひこれらに関わるボランティアをしてみたいと思っています。これからもできるだけいろんなところに行って、たくさん人の活動をしていきたいです。



内村 玲奈さん (16歳)
大口高校2年生

みんなと一緒に伊佐を盛り上げたい。

音楽を聴くことが好きです。1年生のときから生徒会役員をしています。

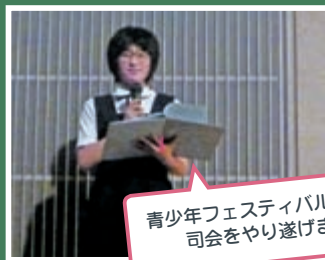
1年生の時に、入学当初から気になっていた大口高校と日本大学の共同企画「曾木の滝公園もみじ祭りプロデュース」に参加しました。私はイベント班としてスタンプラリーを行ったのですが、会場の下見や準備、そして当日は雨が降って紙が濡れてしまったりと大変でした。でも来てくださった皆さんに喜んでもらえたことが何より嬉しくて、やりがいを感じました。

このプロデュースは2年生まで参加できるので、今年はフード班で参加して、イベントを盛り上げてみたいと思っています。今後は、学校のボランティア活動の他にも、将来の夢でもある保育関係のボランティアがあればぜひ参加してみたいです。

活動記録



農業クラブの鹿児島ブレ大会で堂々と発表しました!



青少年フェスティバルで司会をやり遂げました!



たくさんの方がスタンプラリーを楽しんでくれました!

- 日本学校農業クラブ平板測量競技会の生徒実施委員長
- ミニショベル、チェーンソー、刈払機の資格取得

- 社会福祉法人大一会でボランティア活動
- 大口明光学園一粒会(ボランティア会)所属
- 市主催の行事等にボランティアで参加 など



- 曾木の滝公園もみじ祭りプロデュースに参加
- ゴミ拾いボランティアに参加

災害時に支援を必要とする人々を 地域で支えよう

国の災害対策基本法改正に伴い、避難行動要支援者の名簿作成が市町村に義務化されました。

9月上旬に避難行動要支援者に登録申請書を送付し、避難支援等関係者への名簿提供の同意確認を行います。
必ずご確認のうえ、ご返送ください（施設に入所している人は除きます）。

避難行動要支援者

生活の基盤が自宅にある人のうち、次の要件に該当する人

- ① 要介護認定3～5の認定を受けている人
- ② 身体障害者手帳1・2級を所持する人
(心臓、じん臓機能障がいのみで該当するものは除く)
- ③ 療育手帳Aを所持する人
- ④ 精神障害者保健福祉手帳1級を所持する人
- ⑤ 難病で避難する際に支援が必要な人
- ⑥ 80歳以上のひとり暮らし高齢者または高齢者のみの世帯（日中独居の人を含む）
- ⑦ 自ら避難行動要支援者名簿への記載を求める人等市長が必要と認める人



- ・同意されても、避難支援等が必ず保証されるものではありません。
- ・避難支援等関係者は、避難支援等に関し法的な責任や義務を負うものではありません。

を入れる

申請書の記入について

申請は、原則として本人の申請とします。本人が申請できない場合は、配偶者や扶養義務者など（親権者・法定代理人等）が代わって行う代理申請も受け付けます。

※親権者・法定代理人等とは、同居の家族等を含め、本人の利益を守る観点から実質的に判断できる人（民生委員・自治会長等）のことです。

様式第1号
避難行動要支援者登録（変更・抹消）申請書

1. 登録同意確認

伊佐市長 へて
私は災害発生時に備え、避難行動要支援者登録名簿への登録を希望します。また、私が届け出た個人情報（災害時等の緊急時や平常時の見守り等に、支援団体（消防署・警察署・民生委員・児童委員・消防団・自治会・自主防災組織・校区（学区）PTA協議会・社会福祉協議会）等に事前に提供すること）に同意します。（該当する方にを記入してください。）

同意しません
(理由の理由に○をしてください。)
1 自分で避難できるから
2 家族がいるから
3 施設に入所し自宅にいない
4 自分の情報を知られたくない
5 その他

2. 避難行動要支援者情報（同居の家族は必ず記入してください。○又は必要事項を○で記入ください。）

フリガナ	イサ タロウ	生年月日	昭和 10年 10月 10日
本人氏名	伊佐 太郎	性別	男
住所	鹿児島県伊佐市大口里1888番地		
自治会名	<input type="checkbox"/> 加入(自治会名:) <input type="checkbox"/> 未加入	電話番号	
		FAX番号	
人の状況	<input type="checkbox"/> 1. 介護保険認定者（要介護3・4） <input type="checkbox"/> 2. 身体障害者手帳（1級・2級） <input type="checkbox"/> 3. 療育手帳A <input type="checkbox"/> 4. 精神保健福祉手帳1級 <input type="checkbox"/> 5. 難病で避難する際に支援が必要 <input type="checkbox"/> 6. 80歳以上の高齢者のみの世帯（日中独居の者を含む） <input type="checkbox"/> 7. 自ら避難行動要支援者名簿への記載を求める方等市長が必要と認める者		
避難経路等 留意事項	(例：足が不自由なので、車椅子等が必要です。)		
避難支援情報キット	<input type="checkbox"/> 有 返送する方は、必ず緊急避難情報キットを返して下さい。 緊急返送キットをお返りでない場合は、地区の民生委員さんへご届出ください。	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 申請中
世帯状況	<input type="checkbox"/> 一人暮らし <input type="checkbox"/> 家族や保護者と同居(本人含む:)		

※同意されても、避難支援者が必ず受けられるものではありません。
※避難支援情報キットは、避難支援等に際しての緊急連絡や見守りを行うものではありません。
※世帯の世帯主は、災害時の申し送りや情報収集に協力をお願いします。
※避難行動要支援者名簿を作成するために、避難支援関係者が関係機関と連携を行います。

伊佐市福祉課 社会福祉課（ACD対策）
伊佐市福祉課総務課 市民窓口係
(連絡先)

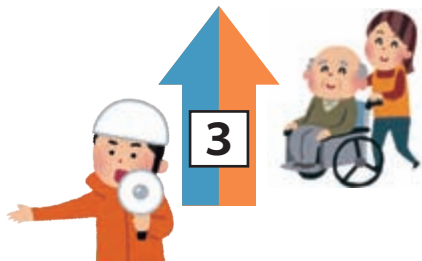
記入例

避難行動要支援者への支援イメージ

避難行動要支援者



情報伝達・避難支援



申請書提出「同意あり」

災害発生時に避難支援を受ける可能性が高まります。平常時は見守りや声かけ、防災訓練等に活用します。

同意 1

不同意 1

申請書提出「同意なし」

避難支援等関係者への名簿の提供は行いません。災害等が発生し、本人の生命・身体を保護する必要があると市が判断した緊急時には、情報提供・支援を行います。

伊佐市

市役所



名簿の作成

緊急時 平常時



名簿提供

避難支援等関係者

・名簿を提供された関係者には、守秘義務があります。

次の避難支援等関係者へ名簿情報を提供します。

- ① 自主防災組織（自治会）
- ② 民生委員・児童委員
- ③ 伊佐湧水消防組合消防本部
- ④ 伊佐市消防団
- ⑤ 伊佐警察署
- ⑥ 伊佐市社会福祉協議会
- ⑦ 校区コミュニティ協議会
- ⑧ 上記のほか避難支援等に携わる者で

市長が避難支援等に関し必要と認めるもの



役割

- ◎災害発生時の、避難行動要支援者の安否確認や情報伝達、避難の手助けなどを行います。
- ◎できる範囲での手助けをお願いします。責任を伴うものではありません。
- ◎災害発生時はまず自分の身を守ってください。被災したときに無理な支援をお願いするものではありません。
- ◎平常時からの避難行動要支援者の見守り等を通して、支援活動が行いやすい環境づくりをお願いします。

平成23年3月に発生した東日本大震災。犠牲者の多くが自力で避難することが難しい高齢者や障がい者だったことを教訓に、市町村は「避難行動要支援者名簿」を作成し、平常時にも活用して、災害時には犠牲者を抑え、1人でも多くの生命を守る・守ってもらいたいという思いで法改正がされました。

市はこれを受けて、「伊佐市地域防災計画」を改正し、避難行動要支援者名簿に記載する方々や支援等関係者を定め、地域で支援を必要とする人々を支える仕組みづくりを進めています。ご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ先 福祉課社会福祉係 ☎231311

点描画チャリティー展示・販売会

伊佐市出身の松岡一心（道雄）氏による点描画の展示・販売会を開催します。繊細なタッチで描かれたふるさとの景色を、ぜひご鑑賞ください。期間中、会場で販売された絵画や絵はがきの売り上げは全額伊佐市へ寄附されます。

期間 9月11日(火)～24日(月) 時間 9時～17時

※18日(火)は休館日のため観覧できません。

場所 大口ふれあいセンター1階

問い合わせ先 松岡綜合法務事務所 ☎099・223・1911



イメージ

ふるさとへ笑いと人情をお届け！

9月15日(土) 開演 14:00
開場 13:30

会場 大口ふれあいセンター3階 多目的ホール

- ※入場無料（入場整理券あり・全席自由）
- ※未就学児は入場できません（託児あり・要予約）。

特別賛助出演

- 宮崎県東臼杵郡椎葉村立^{ふどの}土野小学校「ちびっこ落語」



●春風亭柳之助

本名：荒木大作

（あらかいだいさく）

伊佐市大口出身。鹿児島県立大口高等学校、日本大学卒業。2006年5月真打昇進。落語芸術協会所属。2013年9月、「伊佐ふるさと応援大使」就任。

伊佐市 市制十周年記念事業
伊佐ふるさと応援大使
春風亭柳之助落語会

入場整理券 配布場所

- 大口ふれあいセンター 菱洲図書館
- ※ 予定配布枚数に達した場合、配布終了となります。あらかじめご了承ください。
- ※ 当日、開演10分前に残席がある場合は当日入場券を発行します。

託児サービスあります（予約制・定員：先着20人）

生後6か月以上の乳幼児が対象です。希望者は、9月7日（金）までに電話かメールで申し込みください。その際には①保護者名 ②電話番号 ③託児する幼児の名前 ④幼児の年齢（何歳何か月） ⑤幼児の性別をお知らせください。

託児申込・問い合わせ先 社会教育課 文化芸術係 ☎261554・✉bunka@city.isa.lg.jp

ボランティアガイドが案内する ウォーキング大会参加者募集

曾木の滝公園から曾木第一発電所遺構や薬草の杜など約7キロのコースをボランティアガイド「伊佐の風」が案内します。ウォーキング終了後、伊佐の特産品などが当たる抽選会があります。

日時 **9月9日(日)**
9時～12時
受付8時30分～
※小雨決行

集合場所 曾木の滝公園
募集人員 先着100人
参加費 300円(保険加入費・資料代)
※昼食はありません。飲み物は各自持参してください。
申込方法 住所・氏名・年齢・性別・連絡先を電話かFAX
でお知らせください。
受付時間 10時～16時(月曜日休館日)
申込期限 9月7日(金)
申込・問い合わせ先
曾木の滝観光拠点施設 ☎²⁸2600・FAX²⁸2601



案内コース

曾木の滝公園 → 第一発電所遺構 → 新曾木大橋 →
分水路 → 薬草の杜 → 第二発電所遺構展望台 → 曾木の滝公園

石窯マイスター講座

日時 **10月13日(土)**
9時30分～受付9時～

会場 十曾青少年旅行村
Jisso こどもの森 わらの家

参加費 3,000円

定員 先着15人

申込方法

①氏名②住所③電話番号④職業⑤年齢⑥石窯利用の経験と所有の有無を入力してメール(earthoven.meister@gmail.com)で送信してください。



初級編



講座内容

- 窯の構造と使い方
- ピザの生地コネ・調理方法
- 安全面・衛生面について

問い合わせ先 IEOMA 伊佐石窯マイスター協会 ☎090・3013・5710(前畑)



9月15日は「老人の日」
9月15日～21日は「老人週間」

老人クラブに入会し、仲間と集い、元気な毎日を過ごしましょう!

問い合わせ先 伊佐市老人クラブ事務局(大口元気こころ館内) ☎²³2361

「救急の日」訓練

9月9日の「救急の日」に合わせ、毎年全国各地で救急に関する行事が実施されています。

市では、平成31年開催予定の全国高校総体及び平成32年開催予定のかごしま国体カヌー競技に向けて、「水難事故等による集団災害」と想定し、鹿児島県ドクターヘリを含め、災害現場で関係機関との相互連携を保持するために、情報伝達、救助、救護、搬送等の訓練を実施します。

どなたでも見学可能です。医療機関・消防署・各関係機関の連携訓練をぜひご覧ください。

日 時 9月8日(土) 14時～

場 所 伊佐市菱刈カヌー競技場(湯之尾)

参加団体 伊佐市医師会・伊佐市医師会立准看護学校
伊佐市カヌー協会・伊佐市体育協会・伊佐市教育委員会
鹿児島県ドクターヘリ・伊佐湧水消防組合

問い合わせ先 伊佐湧水消防組合 ☎0119



『災害用伝言ダイヤル』

大地震などの災害発生時に、被災地への通信が急増して電話がつながりにくくなった場合にNTTが提供する安否確認サービス、**局番なしの「171」**に電話をかけ、自分や相手の電話番号を入力することで、被災者が伝言を残したり、家族や知人がその伝言を聞くことができるダイヤルです。東日本大震災や熊本地震でも安否情報の伝達に活用されました。

操作方法については、次のとおりです。



「171」にダイヤルし、案内に従って録音や再生をします。1回に録音できるのは30秒までなので、必要な情報のみを簡潔にまとめましょう。
なお、伝言の**保存期間は48時間**です。



災害用伝言ダイヤル

伝言を録音したい

伝言を再生したい

「171」にダイヤルする

「1」を押す

「2」を押す

被災地の人は自宅の電話番号を入力、
被災地域以外の方は、被災地の人の電話番号を市外局番から入力

「1」「#」を押す

「1」「#」を押す

「録音する」(30秒)

「再生」が始まる

「9」「#」を押す(終了)

災害用伝言サービスは、災害発生時に提供されるものですが、毎月1日・15日などに体験日が用意されています。いざという時に備えて体験し、使い方を確認しておきましょう。

まちの話題



暑さも吹き飛ばす 「伊佐市夏祭り」盛大に開催！



夏の恒例イベント「伊佐市夏祭り」が今年も開催されました。

7月28日、大口中心商店街で行われた市中パレードでは、市内の幼稚園・保育園など22団体1,000人が威勢よく神輿を担ぎ、沿道からの声援や水掛けも相まって通りは大変賑わいました。

夜は市民総踊りに34団体1,300人が参加。それぞれ華やかな衣装に身を包み、団体ごとに違う踊りやかけ声で盛り上がり、沿道の見物者も一緒に楽しんでいました。

8月4日は、湯之尾滝上流での花火大会。今年は市制10周年を記念してレーザー音響花火も打ち上げられました。

7月25日、(公財)鹿児島県環境保全協会伊佐支部の会員の皆さんがボランティア活動として、大口市街地の散乱ごみ回収作業を実施されました。環境美化活動にご協力ありがとうございました。

白熱したトップレベルの ボートレース



8月5日、市制10周年を記念して「いさドラゴンカップ」が開催されました。硫黄山噴火に伴い4月の大会は中止となりましたが、水面輝く晴天のレース日和に40チーム500人が参加しました。

今回は小・中学生や市内職域チームの他に、大阪府などから強豪5チームが招待されました。炎天下の中、水しぶきをあげて力強く進む姿はドラゴンそのもの。太鼓の音と声援が響き渡り、白熱したレースが展開されました。

清掃ボランティア



伝統芸能を受け継ぎ、練習に励む



山野小学校6年生の16人が地域の伝統芸能「石井鎌手踊り」の練習に励んでいます。

7月17日には保存会の皆さんから直接指導を受け、よりキレイのある動きへと上達していました。

今後もあと3回ほど一緒に練習し、11月の学習発表会で披露されます。

新規就農者を激励



7月27日、大口ふれあいセンターで「伊佐市ニューファーマーのつどい」が開かれました。

今年度就農した皆さんが自己紹介や抱負を述べたあと、関係者や先輩就農者から励ましの言葉をもらいました。今年度のニューファーマーは次の皆さんです。

<写真左から・敬称略>

埴雄也（新川：露地野菜）

梶木一磨・市來玲於菜（鳥巢下：根深ねぎ）

上平田武史（田中下：生産牛・水稻）

間宮貴裕（堂崎：葉たばこ・水稻・ゴボウ・大豆）

床次幸広（築地：水稻・生産牛）

荒井大輔（築地：水稻・ゴボウ）

<写真なし>

下野寛彰（永池：葉たばこ・水稻・根深ねぎ）

福元太（平沢津：水稻）

上村博（前目上：根深ねぎ・水稻）

本町子ども神輿 約10年ぶりに復活(表紙)



8月1日、本町自治会の夏の恒例行事だった「子ども神輿」が、約10年ぶりに復活しました。少子化により途絶えていましたが、近年若者の帰省により子どもが増加。地域住民の要望もあり、今回の復活となりました。

子ども神輿には本町自治会と住民の友人の子どもたち約20人が参加。ハツラツとした声で「わっしょい！」と叫びながら、約1.3キロの道のりを練り歩きました。

青壮年会長の山元大さんは「私たちが昔してもらったように、子どもたちに楽しい思い出を残してあげたい。この先また何十年も続けていきたいです」と思いを語りました。

社会を明るくする運動



7月の運動強調月間に合わせ、2日、大口庁舎玄関前で「社会を明るくする運動」のメッセージ伝達式が行われました。伊佐市保護区保護司会や市の関係者が出席し、総理大臣と、鹿児島県知事からのメッセージを市長に伝達しました。

また14日には陸上競技場で、16チーム78人が参加し、啓発活動としてグラウンドゴルフ大会が開催されました。

観光振興などに対し寄附



市と「曾木の滝再生可能エネルギー創出事業」実施協定を結んでいる(株)工営エナジーから、観光振興などの地域貢献費として多額の寄附をいただきました。ありがとうございます。

7月26日に、大内実代表取締役社長から市長へ目録が手渡されました。

九州大会出場！健闘を祈ります



8月2日、平成30年度九州中学校体育大会に県代表として出場する5人が、森教育長を表敬訪問しました。

8月4日～5日に佐賀県総合体育館で行われる空手競技に2人、8日～11日に佐賀県総合運動場陸上競技場で行われる陸上競技に3人出場します。

森教育長に一人ひとり大会への意気込みを語り、九州大会での活躍を期待して激励しました。

<写真左から・敬称略>

勇山誠奈（大口中央中）女子組手
 帖佐太陽（大口中央中）男子組手
 住吉璃音（大口中央中）低学年女子 80 m
 中山奈生（大口中央中）共通女子 200 m
 舟ノ川斗真（菱刈中）砲丸投げ

プロから教わる写真の極意



8月19日、市制10周年を記念して、清水哲朗氏（写真家）・菊池雅之氏（軍事フォトジャーナリスト）・高木美佳氏（シネマトグラファー）によるフォトトークショー&作品講評会が行われました。

フォトトークショーでは、前日に市内の観光地等を巡った3人がそれぞれ撮影した写真や映像を紹介。新しい捉え方に参加者は感銘を受けていました。

作品講評会では、参加者が1人2作品ずつ提出したのに対し、プロの視点から感じたことや的確で丁寧な助言をされました。

最後の抽選会も大盛況で、次回開催を熱望する声が多く聞かれました。

第10回伊佐市戦没者追悼式



今年も8月15日終戦の日、戦没者追悼式が挙行されました。

会場の伊佐市文化会館には、遺族や市の関係者ら約160人が参列し、ラジオ放送の正午の時報に合わせて1分間の黙とうを捧げました。続く式典では、伊佐市遺族会の会長らが平和への思いを述べた後、参列者全員で献花を行いました。

終戦から73年を迎え、遺族の高齢化が進んでいます。先の大戦を知らない若い世代に、戦争の悲惨さと平和の大切さを伝えていくことが必要です。

おめでとうございます

平成 29 年高齢者叙勲

長年にわたり大蔵事務官として関税行政事務に従事された功績が認められ、受章されました。



瑞宝双光章 牛野英利さん(小木原上中)

紺綬褒章

公益のために日本赤十字社鹿児島支部へ多額の私財を寄附された功績により、受章されました。



平城エミさん(ことぶき園)



JOC ジュニアオリンピック杯 平成 30 年度全国中学生カヌー大会

<写真左から>

- 植木一喜さん(菱刈中 3年)
- ・カヌースプリント 500 m男子 C-2 の部 4 位
- 児島志郎さん(大口中央中 3年)
- ・カヌースプリント 500 m男子 C-2 の部 4 位
- 植木春華さん(大口明光学園中 1年)
- ・フラットスラローム女子 KS-1 の部優勝
- ・中学 1 年女子 K-1 ベスト 9 特別レース 2 位
- 久保田潤葉さん(菱刈中 2年) 大会出場



少林寺流錬心館 第 48 回全国空手道選手権大会

<写真左から>

- 林嵩翔さん(菱刈中 3年)
- ・中学生型の部 準優勝
- 林輝竜さん(湯之尾小 6年)
- ・小学生高学年型の部 敢闘賞
- 林煌理さん(湯之尾小 3年)
- ・小学生低学年型の部 ベスト 16



市民体育祭の優勝旗を寄贈

大口酒造(株)が創立 50 周年を記念して、市民体育祭の新しい優勝旗を寄贈されました。ありがとうございます。

8 月 10 日、贈呈に訪れた緒方新一郎専務は「人口が少ない折、一致団結をもって事に当たってほしい」と思いを話されました。



薬草を食べて健康に



三キビとりの妙薬
スベリヒユ

スベリヒユは乾燥に強く生命力旺盛で、昔は家や畜舎などのハエを少なくするために、軒下の所々に挿しておかれたものです。一方、食用として世界各地でサラダやスープ、おひたしなどで食べられています。生薬名は馬歯見ばしけんといい、薬用植物でもあります。イボ、ニキビ、ソバカスなどができやすい人の体質改善や、痔、膀胱炎、出血を伴う下痢や便秘、肝臓病、胃潰瘍などにもよいと言われています。

【スベリヒユのとろろの作り方】

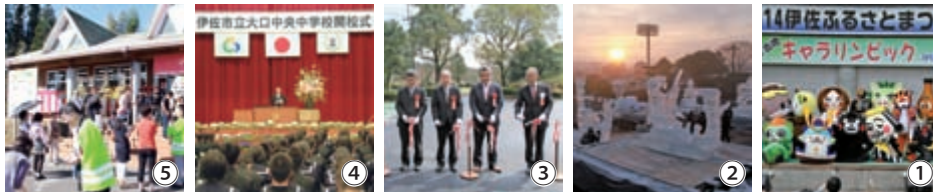
茹でた茎を細かくたたく。梅干し、納豆などを混ぜ、海苔と青じそで包んで食べると美味しい。またはレタスに青じそを重ね、ご飯を薄く敷いて、前記の刻んだものを巻いて食べても美味しい。このときは、少量の醤油とマヨネーズを入れると味が締まる。

食用には、なるべく開花前の柔らかい茎の先を摘みます。摘むとヌルヌルとした粘液が出てくるのが特徴です。
 たつぷりのお湯にひとつまみの塩を加えてさつと茹でて、冷水にとり、辛子和え、辛子酢味噌、味噌汁などで淡い酸味とぬめりが味わえます。
 *村上光太郎著「食べる薬草事典」薬草を食べる」から出典

問い合わせ先 (株)やさしいまち ☎0120・85・8341 または ☎0995・24・4631

伊佐市誕生 10 周年

伊佐市
10 年の
歩み



これまでの歩みを振り返りながら、記念すべき市制10周年を迎えよう！
 7年目は、全国的なニュースとなった大口高校への大学進学奨励金交付事業が始まりました。さらには市内3中学校が長い歴史に幕を閉じ、「大口中央中学校」が開校。そのほかにも新施設がオープンしたり、県内初の取組みが始まるなど、新たな一歩を踏み出した年でした。

〈7年目の主な出来事〉

平成 27 年	平成 26 年
10月9日	11月
10月4日	11月9日
8月25日	ご当地キャラリンピック in 伊佐①
8月22日	大口高校生への「大学進学奨励金交付事業」開始
5月	
4月6日	1月19日 新針持橋 開通式
4月1日	1月24・25日 第20回(最終回)氷の祭典 アイスカービング in 伊佐②
4月	3月15日 大口中学校 閉校式
3月22日	3月21日 大口南中学校 閉校式
3月	山野中学校 閉校式
4月	県内初の取組み 第3子保育料無料化
4月1日	県内初「RVパーク」オープニング式③
4月6日	大口中央中学校 開校式④
5月	姉妹都市・西之表市と 小学校修学旅行交流事業 開始
8月22日	第1回菱刈屋台村
8月25日	・台風15号で忠元公園の桜が倒木 いさ花募金 開始
10月4日	伊佐牧場夢さくら館店リニューアルオープン⑤
10月9日	南三陸町と災害応援協定締結



防災意識の高揚

災害被害を減らす

防災知識と普段の心構え

台風などによる大雨、洪水、暴風が引き起こす被害を防ぐために、国や県ではさまざまな防災対策を行っています。

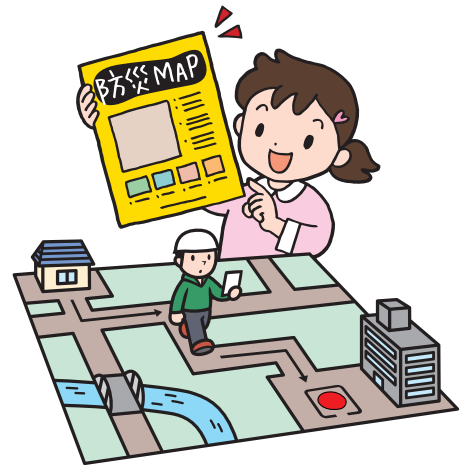
しかし、自然の力が勝れば、災害は発生します。

命を守るためには、国や県が行う対策などの「公助」だけではなく、市民一人ひとりの「自助」、すなわち、災害に対する備えや、早めの避難などの防災活動が重要です。

◎気象庁の防災気象情報を活用し、大雨や台風への備えを！

- 最新の気象情報をインターネット、テレビ、ラジオなどで入手しましょう
- 災害が起こるおそれがある時は、むやみに外出しないようにしましょう
- 危険を感じたら早めに避難しましょう

◎雨や風が強くなる前に、家屋の



補強などの対策を！

- 窓や雨戸はしっかりと閉め、必要に応じて補強しましょう
- 側溝や排水溝は水はけをよくしておきましょう
- 風で飛ばされそうなものは固定したり、家の中に入れておきましょう

◎日頃からハザードマップで危険箇所をチェック！

- 市町村が作成している「ハザードマップ」を活用して、日頃から危険箇所を確認しておきましょう
- 危険箇所をあらかじめ知っておくことで、早めに避難したり、危険を回避して移動することができます

問い合わせ先 伊佐警察署 ☎0110



「認知症を理解し一緒に歩む県民週間」

が設定されました

9月21日は世界アルツハイマーデーです。


県は今年から、認知症の正しい理解の更なる普及啓発や認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けた気運の醸成を図るため、9月16日(日)～22日(土)を、「認知症を理解し一緒に歩む県民週間」と設定しました。

市でも、期間中に次の事業を実施します。認知症に関心のある人ならどなたでも参加できます。

高齢者元気度アップ・ポイント事業

9月の対象活動

○介護予防講演会、介護予防教室、結核検診、子宮・乳がん検診、健康相談



伊佐のカフェおれん家

(認知症カフェ) 開催!

日時 9月21日(金)
10時～12時

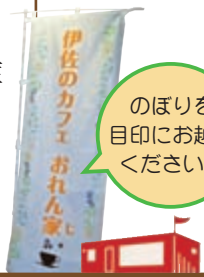
場所 コンテナビレッジ268
前空き地(まごし市場横)

※まごし館斜め向かい
※雨天時は、菱刈ふるさといきがいセンターで実施します。

内容 介護・認知症予防の体操、認知症に関する相談、資料配布など

参加費 無料

※申込不要、出入り自由です。
※屋外テントでの活動になります。



認知症カフェとは、認知症の人や家族、地域の誰もが気軽に参加でき、認知症に対する理解や普及啓発、認知症の人を支える家族の介護負担を軽減することを目的とし、地域で安心して暮らせるまちづくりをめざします。

相談・問い合わせ先 長寿介護課(地域包括支援係・高齢者支援係) ☎01311



「気になる子」ってどんな子



最近、大人が接してみてもあれ？と感じるお子さんに対して、「気になる子」という言葉がよく聞かれます。この「気になる子」という言葉には、どのような子どもたちの姿が表されているのでしょうか。

「気になる子」の相談には、なかなかはっきりした言葉を話さない、お友達と一緒により一人で遊ぶことが好き、止まることなくずっと動き回っているなどの例があります。その背景には、さまざまな要因が考えられます。その一つが発達障がいです。

発達障がいとは？

生まれつき脳の発達が通常とは異なる特性を持つために、コミュニケーションや学習、運動において難しさを抱える障がいです。見えにくく、理解されにくい障がいもあります。子ども

もの努力不足や、しつけ・教育の仕方が原因ではないということを周りが理解し、支えていくことが大切です。発達障がいを抱えた子どもたちは、その多くが1・2歳〜小学校低学年ごろにかけて周囲の子ども達との違いが明らかになっていくと言われています。この時期は、子どもが成長するために、たくさん経験の積み重ねでいく大切な時期です。大人に気付いてもらい、必要な支援を受けられるかどうか、その後の成長に大きく影響していきます。

一番困っているのは子ども自身

大人からみて落ち着きのない子どもや、大人の指示



を聞いてくれない子どもに出会うと、楽しく関われないことに悲しくなることもあると思います。しかし、その背景には、落ち着けない・指示を聞けない等の特性のために、本来ならできるはずの経験を取りこぼしてしまっている子どもの姿があります。一番困っているのは子ども自身です。そのことを理解し、関わりを工夫していくことで、子どもの持つ隠された素敵な力をたくさん発見していくことができます。

「気になる」と思ったら

一人で悩まないことが大切です。子ども一人ひとりに合う関わり方を一緒に考えていく仲間がいます。幼稚園・保育園の先生、学校の先生にまずは相談してみましょう。市の保健師や、子育て支援センター、トータルサポートセンターにも、いつでもご相談ください。

相談先

こども課こども健康係（保健師） ☎23 1 3 1 1
伊佐市トータルサポートセンター ☎29 5 5 1 1

問い合わせ先

伊佐市トータルサポートセンター

☎29 5 5 1 1

夏の風物詩ともいえる全国高校野球選手権大会。球児のひたむきなプレーは、観ている私たちに感動を与えてくれます。この町でもうひとつの甲子園ともいえるドラマがありました。

震災直後、南三陸町では仮設住宅2、195戸分の広い宅地の確保が喫緊の課題でしたが、市街地全域が津波被害にあったために、空き宅地を探すのが困難でした。やむを得ず、町内のサッカー場・テニスコート、町内小・中・高校の校庭にアスファルトを敷き、仮設住宅を建築しました。そんな状況下で、町民が集まって運動できる唯一の場所として残っていたのが「平成の森しおかぜ球場」です。

昨年、阪神園芸協力のもと土の入替えと天然芝の張替えを行い、限りなく甲子園のグラウンドに近い球場に改修しました。そして今年、改修の甲斐あってしおかぜ球場で宮城県予選が4



チーム一丸で掴んだ勝利
(写真提供：南三陸町企画課)

試合行われることが決定しました。厳正な組合せ抽選の結果、なんと町内の志津川高校が当球場での試合日程を引き当てたのです。彼らは、小学生の頃から、仮設住宅がある狭い校庭で工夫して練習してきた子どもたちです。

7月16日、志津川高校対岩ヶ崎高校の試合が行われました。多くの町民の応援を背に、試合は取ったら取られる熱い展開。8番・及川くんがホームランを放つ活躍で、10対9の接戦で志津川高校が勝利しました。たくさんさんの想いが詰まった球場で、この町で育った球児たちが感動を届けてくれました。ありがとう！

(若宮健太郎)

自分のカラダを知ることが健康づくりの第一歩です。今回は体幹力をチェックしてみましょう。

KOBA 式体幹 トレーニング その 9

モデル：伊佐市長 隈元新
指導：Sライセンスマスタートレーナー 土生さとみ



足上げバランス

- ①両手を肩の高さで伸ばす
片足を持ち上げる

10回



- ②息を吸ってお腹に力を入れながら膝を10cm程度上げ下ろしを繰り返す



片足サイドバランス

10回



- ①両手を肩の高さで伸ばす
お腹に力を入れて片足を軽く上げる
- ②上げた足を横に20cm幅で上げ下ろしを繰り返す

※バランスがとりにくい場合は椅子や壁に手をつけて安全に行ってください



ポイント

- 上半身や軸足がなるべく動かないように注意する

※同じように反対側も行う

Welcome to Library

図書館へようこそ



【おすすめの一冊】 (新刊全点案内より引用)

児童 すなのたね シビル・ドラクロワ



(出版：講談社)

サンダルからこぼれ落ちた、さらさらの砂の粒。これをたねみたいにまいたら、何が出てくるのかな？日差し除けの parasol？夏の風を受ける風車？想像はどンドンひろがって…。

所蔵館：両館

一般 送り火 高橋弘希



(出版：文藝春秋)

東京から山間の町に引越した中学3年生の歩。級友とも、うまくやってきたはずだった。あの夏、河へ火を流す日までは…。自然は沈黙し、少年たちは血の遊戯に熱狂する！

所蔵館：両館

【9月の図書館カレンダー】

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 30	24	25	26	27	28	29

□ は休館日 ○ はイベント

開館時間 火～土：9時～18時

日・祝日：9時～17時



英語絵本の読み聞かせ

【今月の新刊本】

【 児童 】		所蔵館
すいかのプール	アンニョン・タル	両館
ふたりはとっても本がすき！	如月かずさ	両館
星空を届けたい	高橋真理子	大口
やきそばばんばん	はらぺこめがね	大口
【 一般 】		所蔵館
悪玉伝	朝井まかて	両館
咳をしても一人と一匹	群ようこ	両館
四十歳、未婚出産	垣谷美雨	大口
家族がよろこぶダンボール工作	pika	菱刈

※市ホームページの新刊案内で上記以外の本も紹介しています。

【イベント情報】

ブックスタート

日 時 9月4日(火) 4か月健診時

場 所 まごし館

内 容 赤ちゃんと保護者へ絵本等プレゼント

ふれあいメルヘンひろば

日 時 9月22日(土) 10:30～11:00

場 所 大口図書館

内 容 図書館ボランティア「ぎんなん」による大型絵本や紙芝居の読み聞かせ

※菱刈図書館ではブックリサイクルコーナーを常設しています。

定期的に入れ替えていますので、ぜひご利用ください！

問い合わせ先

大口図書館 (大口ふれあいセンター内)

☎220417

菱刈図書館 (菱刈ふるさといきがいセンター内)

☎263000

お知らせ

平成30年住宅・土地統計調査

10月1日付けで、全国一斉に平成30年住宅・土地統計調査が行われます。昭和23年以降5年ごとに行われ、今回が15回目となるこの調査では、伊佐市で約2、100世帯(全国で約370万世帯)が対象となる大規模な調査です。この調査では、



- ①高齢化社会を支える居住環境
- ②耐震化・防火性の住宅性能水準の達成度
- ③土地の利用状況

を明らかにすることをねらいとしています。国や地方自治体が行う快適な住まいや生活環境づくり(バリアフリーや耐震化等)のための重要な資料として利用されるなど、私たちの生活の向上に大切な役割を果たします。

9月中旬から対象となったお宅に調査員が伺い、世帯ごとに調査票を配布します。ご協力をお願いします(抽出のため、全戸が対象ではありません)。なお、調査内容は、法律により統計以外の目的に使用することは決してありません。

問い合わせ先

企画政策課政策調整係 ☎1311
手話でおしゃべりしませんか

聞こえる人・聞こえない人、手話を知っている人・知らない人、手話に興味のある人、どなたでも参加できます。一緒に楽しい時間を過ごしませんか。皆さまの参加をお待ちしています。

日時 9月23日(日) 13時～15時
 場所 大口ふれあいセンター1階
 工作実習室

問い合わせ先
 手話サークルコアラ
 ☎3448 (古田)



伊佐市観光特産協会の事務所が移転しました

8月1日から市観光特産協会は、曾木の滝公園内にある観光拠点施設の事務所から大口ふれあいセンター2階の伊佐PR課内に移転しました。

なお、曾木の滝観光拠点施設は、観光ボランティアガイドが配置され、曾木の滝をはじめ、市内の観光案内をします。

連絡先

▽伊佐市観光特産協会

☎5013

▽曾木の滝観光拠点施設

☎050・3730・8731
 ☎2600・☎2601

男女共同参画社会

全ての人が、互いに人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別にかかわらず個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会を実現するためには、職場、家庭、地域などあらゆる分野での取組みが必要です。

市では、委員会、審議会等委員における女性の登用率向上のため、市役所全体で取り組んでいます。

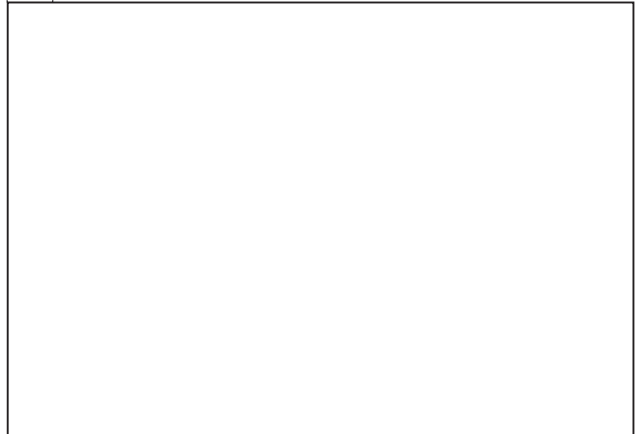
女性の公職参加状況 (年度末調べ)

年 度	23	24	25	26	27	28	29
審議会等数	50	48	48	51	59	58	62
うち女性委員のいる審議会等数	41	41	42	45	49	49	52
委員総数(人)	686	657	653	690	763	745	764
うち女性委員数(人)	146	141	143	153	154	153	163
女性委員比率(%)	21.3	21.5	21.9	22.2	20.2	20.5	21.3

◆男女共同参画出前講座

男女共同参画に関することを職場、団体で学んでみませんか。自治会、PTAなどでもご利用できます。

広告



対象者 概ね5人以上参加できる市内の事業所・団体等

時間 1時間～1時間30分程度

場所 伊佐市内

期間 10月～平成31年3月

講師 ○男女共同参画地域推進員

○伊佐市職員

講座内容

固定的な性別役割分担の意識や男女の人権の尊重について

申込方法

企画政策課・地域総務課・各校区コミュニティ協議会にある申込書を提出してください。

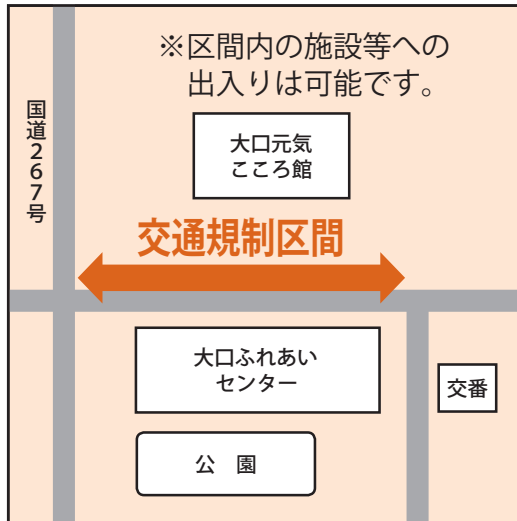
申込・問い合わせ先

交通規制のご案内 (工事遅延)

大口ふれあいセンターと大口元気こころ館の間を通る市道（大口駅国ノ十線）の舗装工事の日程が延期になりました。工事期間中は交通規制等で、ご迷惑をおかけしますがご協力をお願いします。

交通規制期間 9月中旬以降

※天候や工事進捗等によって期間は前後します。



問い合わせ先 建設課土木係 ☎②31311

片側通行のお知らせ
 舗装工事のため
片側交互通行となります。

※規制中は渋滞等が予想されますので、施設利用以外の人は、迂回して通行してください。

企画政策課地域活力推進係

☎②31311

運動能力・体力調査

自分に適した運動をし、ケガを予防するためには、自分の体力を知っておくことが大切です。今の自分のカラダ年齢を測定してみませんか。

日時 9月25日(火) 19時～

場所 菱刈農業者トレーニングセンター

対象者 20歳～64歳男女

調査項目

握力測定・上体起こし・

長座体前屈・反復横とび・

20mシャトルラン・立ち幅跳び

持参品

屋内シューズ、タオル、飲み物等



申込期限 9月20日(木)

申込・問い合わせ先

スポーツ推進課スポーツ係

☎②1578・FAX②1055

第58回 明光祭

日時 9月16日(日) 9時～15時

※荒天時は9月22日(土)

場所 大口明光学園

内容

ステージ発表・展示・バザーなど

詳しくは学園ホームページ (www.okuchimeiko.ac.jp) をご覧ください。

申込・問い合わせ先

大口明光学園

☎②0609

9月の水道メーター器取替え

計量法により、水道メーターは8年で取り替えることになっていきます。

市が委託する市内の管工事組合等が対象のご家庭に伺い、無料で交換します。

メーター器本体は貸与となりますので、管理には十分ご注意ください。

対象のご家庭には事前に検針票にてお知らせします。

【大口地区】 駅前・堂崎・金波田

【菱刈地区】

鵜泊・小原松山・湯之元・愛都・川北麓上・川北麓中・北俣・湯之尾新町

取替えについてのお願

▽メーターボックスの上に物を置か

広告

女性サロン室

あなたが自分らしく生きるために、一緒に考えます。

開催日 9月5・19日(水)

時間 13時30分～16時

場所 大口仲町旧安楽ヨシ子様宅

連絡先

☎090・3016・3660

いでください。

▽不在でも取替作業を行います。その

場合は取替済のお知らせを郵便受けなどに入れておきます。

問い合わせ先

水道課管理係

☎②31311

10月から乳幼児医療費の窓口負担が無料になります
(非課税世帯対象)

経済的な理由から受診を控えることによる症状の悪化を防ぐため、県内医療機関等での窓口負担をなくす制度が始まります。



対象となる世帯には9月上旬に通知します。受付期間内に申請及び受給資格者証の受領をお願いします。

対象者 市内在住の住民税非課税世帯の未就学児

受付期間 9月18日(火)～28日(金)

※土日・祝日は除く。

受付時間 9時～17時15分

受付場所

こども課子育て支援係(大口庁舎)

問い合わせ先

こども課子育て支援係 ☎ 1311

イノシシ・シカ用電気柵を設置しませんか

設置条件



①伊佐市民で、市税の滞納がない人

②30アール以上の集団となっている耕作地(家庭菜園は含まない)

③対象となる電気柵は2基までで、2戸以上の耕作者が共同設置するもの

※耕作地が孤立した場所にある等の理由で共同設置できない場合はご相談ください。

④過去に補助事業で設置していない箇所

⑤作物は販売目的であり、飼料作物は家畜農家へ供給しているもの

補助金

電気柵購入額の4割(上限有)

申請・問い合わせ先

林務課鳥獣対策係 ☎ 1311

農業用廃プラスチック類の処理

農業用廃プラスチック類は産業廃棄物であり、排出事業者(農家)の責任で処理するよう義務付けられています。次のとおり処理を行ってください。

日 時 9月12日(水)

▽大口地区 8時～12時

▽菱刈地区 13時～15時30分

収集処分場所 (株)三宝保全

伊佐市大口宮人1191-73

☎ 2888

収集対象品目

農業用マルチフィルム、ハウス用被覆ビニール、トンネル用被覆ビニール、

農薬プラスチック容器、肥料袋、飼料ラッピング用フィルム、育苗箱、育苗

ポット等

※農業用ビニール・フィルム等は裁断処理するため、なるべく小さく折りたたみ、ビニール紐で縛って持ち込

んでください。家庭ごみは捨てられません。

※農薬プラスチック容器は、中の薬剤が無いのを確認し、水で中を3回以上洗浄してから、潰さずにポリ袋に入れて運搬してください。

市・3分の1以内、農協・3分の1以内(上限有り)

その他

○処分料金と印鑑を必ずご持参ください(補助金は平成31年3月に振り込まれます)。

○伊佐地域農業用廃プラスチック類適正処理推進協議会で搬入物の検査、量の確認を行います。

※農業用廃プラスチック等を運搬する場合、車両の表示及び書面の備え付けが必要です。不備がある場合は罰せられることがあります。

※野焼きや山林等への不法投棄はもちろん、自家焼却や自家所有地への埋め立ても禁止されています。

詳しくはお問い合わせください。

問い合わせ先

伊佐地域農業用廃プラスチック類適正処理推進協議会事務局(北さつま農業協同組合伊佐配送センター)

☎ 4111

☎ 264111

☎ 4111

☎ 264111

☎ 264111

☎ 264111

☎ 264111

☎ 264111

☎ 264111

☎ 264111

☎ 264111

☎ 264111

☎ 264111

☎ 264111

☎ 264111

☎ 264111

☎ 264111

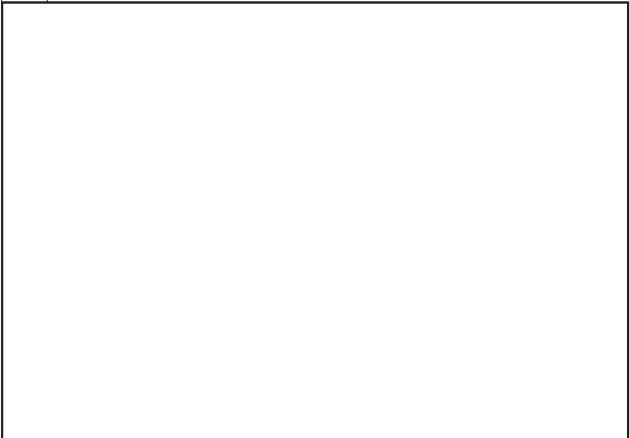
☎ 264111

☎ 264111

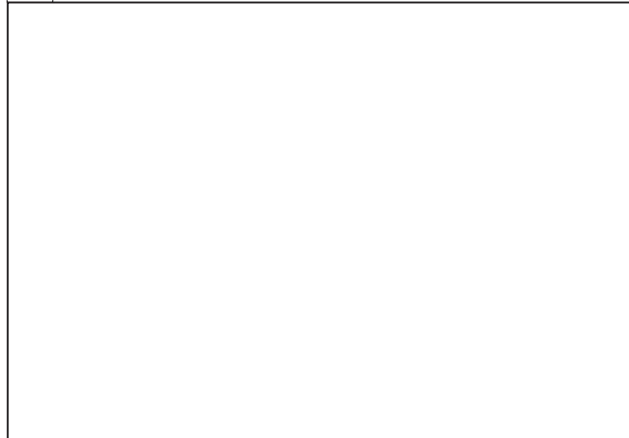
☎ 264111

☎ 264111

広告



広告



誕生



(7月3日～7月30日受付分)

有村 壮真(直樹・亜由美/中野)

大牟田 苺彩(湧弥/駅前)

河野 凛花(孝文・恵/大田)

早水 菜七(洋兵・敦子/湯之元)

張原 来霸(恵一・郁紗美/山ノ神)

松田 蒼大(章仁・由佳/上八坂中央)

水谷 優斗(直人・萌/八坂町)

築瀬 暁仁(信一朗・桃子/里町)

木山 瑞葵(貴陽・仁美/駅前)

※5月受付分

山下 実優(健太・成実/大島南)

宮崎 聖(瞬・朱里/元町実業)

※子氏名(父の名・母の名/自治会名)

父または母のみの掲載も可能です。

おくやみ



(6月30日～7月31日受付分)

大口地区

精松 マスエ

有田 タカ子

上之原 ヒサ

清水 榮藏

末原 カヅ子

瀬戸口 博文

96 (西原)

90 (井手原)

92 (千束松)

93 (青木ケ島)

81 (東戸切)

83 (木崎)

山野地区

岩切 照雄

江崎 利吉

大川 フサ子

齊藤 不二夫

下小園 ミチ子

肥後 芳子

向井野 フヂミ

羽月地区

森 博伸

89 (小川内)

91 (石井)

92 (小木原上中)

89 (停車場)

93 (平出水中央)

92 (平原)

78 (駅前)

田崎 英治

星脇 忍

森口 耐子

山野地区

岩切 照雄

江崎 利吉

大川 フサ子

齊藤 不二夫

下小園 ミチ子

肥後 芳子

向井野 フヂミ

羽月地区

森 博伸

70 (国ノ十)

94 (ことぶき園)

89 (永尾)

89 (小川内)

91 (石井)

92 (小木原上中)

89 (停車場)

93 (平出水中央)

92 (平原)

78 (駅前)

西太良地区

兒玉 稔

長岡 聡

福元 トキ

菱刈地区

瀬之口 スミ

畠中 和子

山元 勝子

南永・本城地区

久木田 ミキ

倉野 涼子

坂留 榮次

南 シズ子

60 (土瀬戸)

63 (土瀬戸)

95 (諏訪)

102 (停車場)

78 (築地)

76 (共進)

98 (瓜之峰)

90 (町船津田下)

81 (永池)

81 (下荒田)

敬老の日の無料入浴

高齢者を敬い長寿を祝って、大口温泉高熊荘とまごし温泉の利用料を無料とします。受付に申し出て下さい。

期 日 9月17日(月) 敬老の日

※大口温泉高熊荘は通常の休館日にあたりますが特別に開館します。

対象者 市内に住所を有する70歳以上の人(今年度中に70歳になる人も含む)

問い合わせ先

長寿介護課高齢福祉係

☎231311



稲作中止に対する支援金

次の方々から市へ、川内川流域での稲作中止に対する支援金が贈られました。ありがとうございます(順不同・8月16日現在)。

○北さつま農業協同組合

○喜界町職員労働組合

広告



このコーナーでは、「お便り」や「写真」をお待ちしています。

【投稿について】

- ◆お便りは200文字以内。写真は1枚につき50文字以内。(文章は、必要に応じて添削します)
- ◆住所・氏名・年齢・電話番号・ペンネーム(記入がない場合イニシャルで掲載)を記入の上、ご投稿ください。
- ◆投稿は、はがき・封書・FAX・メールまたは直接伊佐PR課(大口ふれあいセンター2階)へ
- ◆締切は、毎月10日
- ※営利目的や個人、団体を批判・中傷するような内容は掲載できません。
- ※紙面の都合上、掲載できないこともあります。
- ◆投稿者の中から抽選でプレゼントが当たります。当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。



【投稿・問い合わせ先】

〒895-2511
伊佐市大口里2845番地2
伊佐PR課
「和みのひろば」係
☎04113
FAX09420
✉koho@city.isa.lg.jp

去年家族のように育てた犬が死んでしまいました。ショックで落ち込んでいたのですが、仕事先で子猫をもらうチャンスがあり、私は今まで猫を飼うことがなく迷いましたが、犬の生まれかわりと思い育てることにしました。1年たつてすくすく育ち、すっかり家族の一員となりました。ペットのおかげで前向きな日々を送っています。出会えたことに感謝です！
(羽月 サンガール 60代)

川内川流域の田んぼは時代とともに変化し、伊佐米ブランドとして今日までできている。今年には休作と決まり、どれ程農家の方が悩み、心配されたか。それでもいつものように畦払いをし、トラクターで耕して、今日も何か植えられる。どの田んぼも明日のために生きている。世界も日本も鹿児島も数々の災害にあっている。この事に負けてたまるかの勢いで、しっかりと次に継いでいくことを目標に。農家さん、田んぼさん、キバイが!!
(本城 太良姫 70代)



イタリアのポローニャから伊佐市へ居合を習いに来たダリオ・フェラーリさん。見事な太刀さばきでした。
(山野 K・K 70代)

46年ぶりに故郷に移住しました。どこもかしこも変わっています。小学生の人数もとても少なくなり、牛乳やパンを買っていったお店もなくなりました。通学に使っていた菱刈駅や大口駅はどこにあったのでしょうか。ドキドキしながらそっと交換日記を手渡ししていた駅がもうありません。町の雰囲気もすっかり変わっています。あの方も変わってしまったのでしょうか?
(本城 ほかさんといて 60代)



人口のうごき (住民基本台帳から)

H30. 8. 1 現在 (前月比)

総人口	26,266人	(- 48)
男	12,215人	(- 20)
女	14,051人	(- 28)
世帯数	13,588世帯	(- 23)

高校3年生が多かった今回。これから頑張りたいことを聞くと、皆さん「受験です!」と一言。これからさらに大変な時期だと思えますが、自分らしく自信を持ってやり切れることを祈っています。合格祈願!!
お忙しい中、今回の取材にご協力いただいた6人の皆さま、高校の先生方誠にありがとうございました。



編集後記

今回の高校生特集、お話を聞いてみると皆さんの意識の高さや行動力に驚かされました。

マイブームや部活等について話しているときは高校生らしさを感じましたが、今まで一生懸命に取り組んできた事や、やりたい事・夢を語っている姿は、制服を着ていても、なんだかとても大人びて見えました。堂々としていて、まさに輝く若者たちの姿でした。